

単  
元  
名

～拍にのって、明るくのびのびと歌いましょう～

## 茶つみ

教科書出版社名（教育芸術社）

○ 小学校（ 3 ）年 教科等（音楽・総合的な学習の時間）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

・同じリズムの中で変化する音程の違いに気付き、正確な音程で歌えるようにする。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

・「茶つみ」について本やインターネットで調べたことをもとに歌詞の内容を知り、イメージをふくらませながら曲想にふさわしい表現の工夫ができる力。

○ 学校図書館等活用のポイント

・歌詞が表す言葉の意味や情景を本や資料で調べ、曲想にふさわしい表現を工夫して歌う。

○ 学習の展開（全6時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	<ul style="list-style-type: none"><li>・CDを聴き、歌詞を聴き取る。</li><li>・曲名からイメージしたことを発表する。</li><li>・呼吸や発音の仕方に気を付けながら、明るく柔らかな声で歌う。</li><li>・指導者の手の動きをまねながら、各自で手遊びの動作を覚える。</li><li>・ペアになって向かい合い、歌いながら手遊びをする。</li></ul>
第2次 (☆)	<ul style="list-style-type: none"><li>・本や資料から、「茶つみ」を調べ、イメージをふくらませる。</li><li>・「茶つみ」について調べたことをもとに、どのように歌えばいいかを考える。</li></ul>
第3次	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループごとに工夫しながら歌う。</li><li>・グループで工夫したことを発表し合う。</li><li>・同じ旋律、似ている旋律を見付け、音の高さや旋律の動きに合わせながら歌う。</li><li>・拍の流れにのって歌う。</li><li>・旋律やフレーズを生かすにはどんな歌い方をすればよいか意見を出し合い、全体で共有する。</li><li>・工夫した表現を生かし、明るい声でのびのびと歌う。</li></ul>

(本時 4 / 6時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい  
本や資料で調べた「茶つみ」のイメージをもとに、工夫して歌う。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
7	1.既習曲を歌う。 ・「春の小川」 2.時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">「茶つみ」を工夫して表現しよう</div>	
30	3.歌い方を工夫しよう。 ・グループで、意見交流しながら考える。 ・工夫したところを説明するために、「○○○だから□□□にした」と資料を根拠に考える。 4.友だちの工夫したところを文章で表す。 ・それぞれのグループで「よかったところ」や「改善点」を付せんに書く。	・調べ学習をする前の歌い方を動画で見せる。 ・どのように工夫して歌ったらよいかを本や資料で調べたことを根拠に考えさせる。 ・「茶つみ」のイメージができるように写真なども用意する。 ・良いところを赤い付せんに、改善点は青い付せんに書かせる。
8	5.感想や意見を交流する。 ・友だちの「よかったところ」「改善点」等を書いた付せんを確認する。 ・友だちからもらったアドバイスを次時の歌の練習の参考にすることを伝える。	

図書館活用  
ポイント